

## 2.3 現状からの改善のアプローチ区分をするための「3-5 フェーズ・インプルーブメントの方法」

- 2.3.1 はじめに
- 2.3.2 手 順
- 2.3.3 補足事項
- 2.3.4 考 察

### 2.3.1 はじめに

本節は現状からの改善アプローチの仕方を混乱しないように区分するための；「3-5フェーズ・インプルーブメントの方法」(3-5 PHASE IMPROVEMENT) について説明する。

この方法で何ができるかをいうと次のようになる。

この手法を使うことにより、現状からの改善アプローチ区分を、下記のように3つないし5つに区分して改善作業を平行して進めるようにして改善作業にバランスをとり、同時並行の改善と開発作業をスタートしやすくする（図2.3-1参照）。

- (1) PHASE I 対策；  
「すぐできること」と「PHASE II 対策までの過渡対策」
- (2) PHASE II 対策；  
できるだけ早く実現するべきことではあるが、少々準備が必要な対策
- (3) PHASE III 対策；  
帰納・演繹の手順(ステップリストと同じプロセス)でいろいろ考え、実現するべき対策
- (4) PHASE IV 対策；（これ以下の対策はPHASE対策までで対策が十分なときは考えない）  
ある課題を解決してからでないとはPHASE対策にさえ入れない対策
- (5) PHASE V 対策；  
解決すべき課題がはっきりしないので、解決すべき課題を明らかにする調査から入らなければならぬ対策

### 2.3.2 手 順

図2.3-2の記入例に示す書式を利用する。

- (1) 課題を設定する。
- (2) KEY WORDを決定する。
- (3) KEY WORDの表現を実現するための結果に結びつく対策、実施事項を考えつだけ書き出す。  
（これは、中心となるPMDやステップリストを作成しているプロセスから出てくるものでもよ

い)

- (4) そのカードを5つのアプローチ区分に整理して書式の実施事項欄に記入する。
- (5) 実施のための必要条件、準備事項および実施担当完了予定日を該当欄に記入する。
- (6) 最高責任者はそれを承認し、推進責任者を指名しGO-A-HEADをかける。
- (7) 管理者の役割は、「実施のための必要条件、準備事項」を整えることとする。

### 2.3.3 補足事項

- (1) 改善対象物件のFBS/WBSを作ると対策実施事項が抽出しやすくなる。
- (2) PHASE I、II、III対策のみを対象として、3フェーズ・インプルーブメントの方法として利用することもできる。
- (3) 上記(4)の記入作業は、各PHASEごとに、対策がとりやすくて効果の大きなものの順に並べ、その実現の優先づけをすると作業がしやすい。
- (4) 複雑で長期的な改善対策を実行する場合で、3-5フェーズのPHASE対策全部につき同時にGO-A-HEADをかける必要のあるときは、3-5フェーズ・インプルーブメントの方法で改善を進めると宣言文章の入っている改善実施計画書<sup>(注)</sup>を作り承認をして組織にGO-A-HEADをかけて具体的なスタートを容易にする。

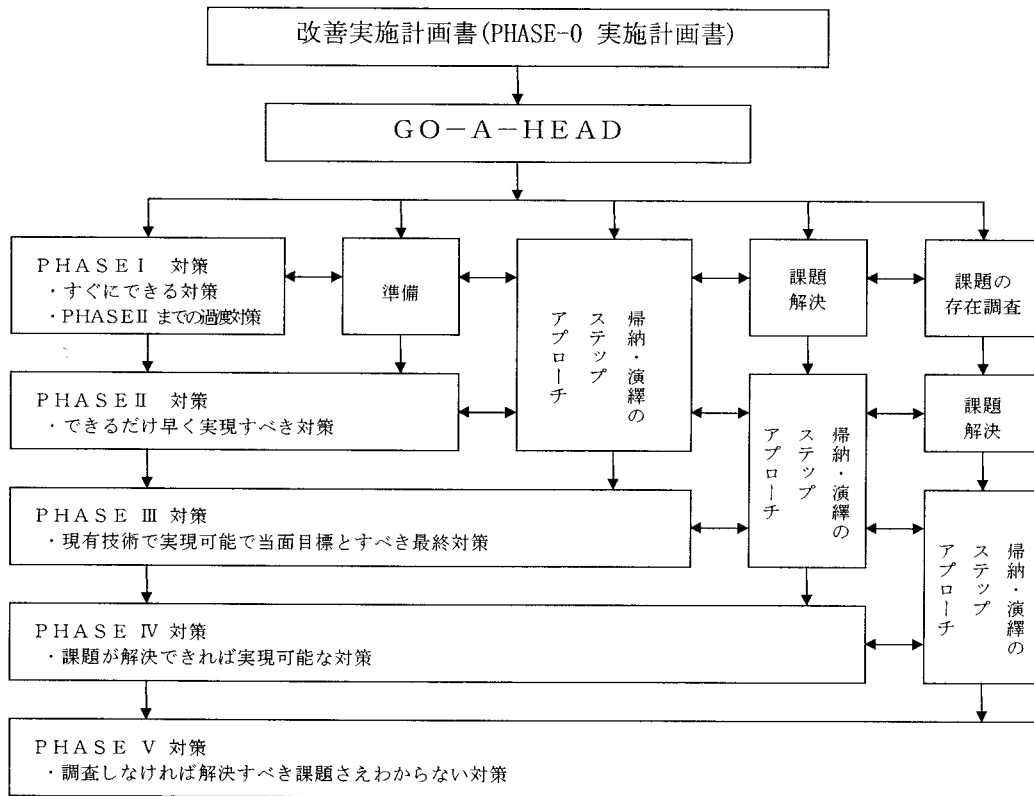
(注) この実施計画書を「PHASE-0 実施計画書」と呼び他の実施計画書と区分する。

### 2.3.4 考 察

- (1) 「実施をするための必要条件、準備」の欄は、従来の考え方では問題点<sup>(注)</sup>と記していた内容を、目標を実現するための必要条件という表現に置き換えさせるものであり、これにより積極的な行動が始められるようにする。

(注) 問題点というとその問題を指摘しただけで動けなくなることがある。従って、従来「問題点」とっていたことばを「上位の目的を実現するための必要条件」ということばに切り替えて扱う。そうすることにより、「…を…する」ため「…を…する」のPMDと同じ目的手段の繰り返しになるので、行動を起こしやすくなる。

図2.3-1 5-3フェーズ・インプルーブメントの区分



(注) PHASE-0 実施計画書とは 3-5 フェーズ・インプルーブメントを利用して改善を進めるという方針を含む企画書を指す時に使う。

図2.3-2 5フェーズ・インプラメントの書式の記入例

課題：DITCN法の社内展開  
 KEY WORD:「DITCN法の社内展開実施計画を作成、承認実施をすること」  
 (要するに・・・しさえすればよい) 「構想書に盛り込むべき内容を決定する為の条件(物を含む)を決める」;

承認:

推進責任者:

PHASE I 対策	PHASE II 対策		PHASE III 対策		PHASE IV 対策		PHASE V 対策	
	実施のための必要条件と準備	実施の担当、完了予定日	実施のための必要条件と準備	実施の担当、完了予定日	実施のための必要条件と準備	実施の担当、完了予定日	実施のための必要条件と準備	実施の担当、完了予定日
実施事項 1. 勉強会の活動予算の確保 2. プロジェクト室の確保 3. 勉強のやり方を決める 4. 勉強会の作業運営ルール 5. 勉強会の認知シナリオの作成	実施事項 1. 5つの基本ツール、NMF法、適正購入価格、DTCNトレードスタディの教育 2. DTCN解説書 3. 適用事例集 4. 適用可能項目、分野/分類表 5. PMD、ステックプリストに対するOJT 6. 径束の問題解決型の品質管理と、DTCN手法による課題実現型の品質管理の共存のPMDの作成	実施事項 1. DTCN手法の社内展開実施計画書の作成、承認 2. 学者等のコメント集(無料) 3. 用語解説書の作成 4. PMD(勉強会)インストラクター養成	実施事項 1. フォーマット集(手順と事例) 2. DTCN定着化のためのシナリオ/スナップのフロー 3. DTCN教育計画の実施 4. 各事業部でのDTCN勉強会実施 5. 全社展開の予算展開	実施事項 1. DTCNのTOP認知シナリオの実施 2. インスタグラマー用マニュアルとソーシャルの作成 3. インスタグラマーの育成 4. 各事業部展開シナリオ集/基準・手順書 5. DTCN解説ビデオ 6. インスタグラマー用マニュアルとソーシャルを作成するためのコンテンツ導入検討				